

【事業者名称】グループホームなぎさ(2階)

平成22年 8月30日評価実施

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	一昨年に作成し、地域活動への積極的な参加も掲げている。	○	今後も、地域の中での生活ということ視野に入れていきます。町内会への声掛けを行う必要もあり、取り組んでいきたい。
2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員にも作成に参加してもらい、適時、確認を行ってきており、共有しています。		今後も、職員間で理念の共有を意識していけるように検討していきます。
3		<input type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	現在、重要事項説明書などに明記するなどして取り組んでいますが、浸透しているとはできていません		職員全員で取り組んでいけるようにしていきたいと思います。
理念と共有 3項目中 0項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の住民と付き合いを持つための具体的な取り組みはしていない。		今後、地域に入っていけるように努力していく必要があると思います。
5	3	<input type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地元中学校の福祉体験学習などは受け入れているが、地域の老人会などとの交流はない。		当施設からの積極的なアプローチが必要であり、今後、努力していきます。
6		<input type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の高齢者等の暮らしに役立つ話し合いや取り組みはしていない。		当事業所にできることは何か、今後考えていく必要があると思います。
地域とのつきあい 3項目中 0項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input checked="" type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価、外部評価とも、年度内に1回実施。今年度も自己評価については職員にも参加してもらっている。		定期的に行えるように取り組んでいきたいと考えます。
8	5	<input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を今年、1月より2ヶ月に1回実施。ただ、地域代表の参加についてはこれからの課題です。		継続して地域の代表の方の参加をお願いし、サービスの向上に努めていきます。
9	6	<input checked="" type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議を開催時に地域包括支援センターの職員に参加いただいています。		さらに連携を図りたいと思います。
10		<input type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	勉強不足であると思います。		今後、さらに理解し必要な制度の活用を行って行きたいと思います。
11		<input type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルを作成し、各フロアに置き、確認できるようにしています。ただ、これに基づいての勉強はこれからです。		職場内外研修などで、理解を深めていくように努力していきます。
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 0項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては十分に説明を行い、必要に応じて、その都度説明を行っています。		今後も、引き続き必要な相談に応じていきたいです。
13		<input type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	頂いたご意見は運営に反映させていくようにしていますが、外部とのつながりは少ないのが現状です。	○	運営推進会議の開催などにより、より外部とのつながりを広げていけるようにしたいと思います。
14	7	<input type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	3ヶ月に1度手紙を書いて、暮らしぶりについて簡単な報告と行事等の写真を送っている。よく面会に来られる家族にはお小遣いの状況など話すこともあります。		今後も引き続き行き、また、家族会などの実施も検討していきたいです。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	GH内外での相談・苦情窓口の掲示は行っているが、事例がなく、実際に委員会などが開催された実績はありません。		今後も引き続き行い、また、家族会などの実施も検討していきたいと思います。
16		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	現在1ヶ月に1回、職員会議を開催し、意見や提案を聞く機会を設けている。又、意見箱を設け、意見を入れられるようにもしています。		今後も行って行きたいと思います。
17		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	勤務表作成者により、適正に作成し、必要に応じて、できる限りの調整を行っています。		今後も行って行きたいと思います。
18	9	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動は必要最小限に抑えるようにしている。またその時、馴染みの利用者がある場合は事前に説明し、理解を得るようにしている。		どのような対策によりダメージをもっと小さく抑えられるのか、検討していく必要があると思います。
理念を实践するための体制 7項目中 4項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修の年間計画参加、内部研修の実施などを今年度は実施しています。		もっと研修への参加の機会が作れるように努めていきたいです。また、職場内における研修の充実を図る必要もあります。
20	11	<input type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH協議会へのさんかなど他のホームなどと連絡は取り合っていますが、もっと職員間での交流を行っていくことができればよいと思います。	○	もっと職員間で交流が図れるよう、連絡、調整ができると思います。
21		<input type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	できていません。		どのようにすればいいのか、検討が必要かと思っています。
22		<input type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	できていません。		今後、どのようにすれば職員も目標を持って、働けるかを検討する必要があります。
人材の育成と支援 4項目中 0項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
Ⅱ-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談に来られた方や、入居予定の方には必ず面談の機会を持ち、できる限り思いを聞き取る努力をしている。		今後とも継続して行って行きたいと思います。
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	少しでも家族の抱えている悩みなどを、誠意を持って聞き、受け止める努力をしている。		今後とも継続して行って行きたいと思います。
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談の内容に応じて、できる限りの確な情報提供に努めている。		今後とも継続して行って行きたいと思います。
26	12	<input type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人、家族との相談が十分であるとはいえない。	○	今後、本人、家族とも相談しながら対応していきたいと思います。また、本人がなじんでから入居できる仕組みの検討も必要です。
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 3項目					
Ⅱ-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	自尊心を傷つけず、本人の意思、意見を尊重して支えあう関係を築いている。		なかなか見直す機会もないことから今後も引き続き検討していく必要があると思います。
28		<input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	できるだけ家族との交流を持ち、よい関係を築いている。誕生日会や行事などに参加できる家族さんには参加してもらっています。		今後も継続して行って行きたいと思います。
29		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築けるように支援している	良く面会に来られる家族とは、職員側からも話を聞く機会を積極的に取り、本人と家族の関係性によって柔軟に対応している。		あまり面会に来られない家族とも、本人との関係性について話を伺えるような機会を作っていきたい。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れな いよう、支援に努めている	できるだけ、本人の希望に添えるように努力しているが、あまり外出の機会がなく、 今後考えていく必要があるかと思ひます。		これまでのなじみの関係を大切にす るためにも、もう少し検討して いく必要があると思ひます。
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず に利用者同士が関わり合い、支え合えるよう に努めている	職員にて行っています。		今後も継続して行って行きたいと思 ひます。
32		<input type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者 や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	全件は把握できておらず、どうしても今は 継続が難しい状況です。		今後はもっと継続した関係を持てるよ うに検討したく思ひます。
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 4項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	希望・意向のある方については、できる限りそれらに応えるよう努めている。本人の意思表示が困難な場合は家族と相談する等、本人本位の検討を心がけている。		今後も継続して行って行きたいと思います。
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人から聞き取れる場合は聞き取り、それが困難な場合は家族からできる限り多くの情報の把握に努めている。		今後も継続して行って行きたいと思います。
35		<input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	定期的な介護計画やアセスメントの見直しにより、常に現状把握を意識するよう努めている。		今後も継続して行って行きたいと思います。
一人ひとりの把握 3項目中 3項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	計画については職員間でカンファレンスを行い作成し、家族に説明、意見を確認し作成している。		今後、家族が入って検討していく形も検討していきたいです。
37	16	<input checked="" type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1回、見直しを行い、必要に応じて見直しを行っています。		今後も継続して行って行きたいと思います。
38		<input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録を見直し、職員会議で情報を共有し、介護計画にも生かされています。		今後も、記録も活用し、必要に応じて記録書式を見直していくことも必要かと思えます。
介護計画の作成と見直し 3項目中 2項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	<input type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	年末年始の外泊支援や、家族のホーム内同泊は可能です。病院受診についての対応もおこなっていますが、多機能性を生かしているかは疑問です。		どのような活用方法があるのか、意見を聞きながら検討していきたいです。
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 0項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域資源の活用が十分にできていない。		今後地域への活動と同じに動いていけたらよいかと思えます。
41		<input type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	実施できていない。		他のサービスの活用も検討していきたいと思えます。
42		<input type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	実施できていない。		運営推進会議を早急に行い、協働していきたいと思えます。
43	18	<input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	できる限り、希望に沿うようにしているが、定期受診の付添については家族にお願いしている。		今後も必要に応じて行っていきたいと思えます。
44		<input type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	常時の連携はないが、日常を観察して、変化があれば専門医への受診の支援はしている。		今後連携を図っていく必要があると思えます。
45		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	できる限り行っている。		今後も必要に応じて行っていきたいと思えます。
46		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	情報交換や相談はできる限り行っている。		今後も必要に応じて行っていきたいと思えます。
47	19	<input type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合の対応、体制が不完備のため実施できず、方針の説明については未徹底だと思われまます。		事業所としての方針を繰り返し説明し、利用者、家族と方針を共有していく必要があります。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	できていません。		今後、重度化が予想されるため、取り組んでいかなければならない問題の一つです。
49		<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	できる限りの情報を提供し、ダメージを最小限に抑えられるように努めています。		今後も必要に応じて行っていきたく思います。
地域資源との協働 10項目中 4項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	声掛けなどは配慮している。また、個人情報の取り扱いについては規定されている。		今後にも必要に応じて行っていきたく思います。マニュアルの策定も検討していきます。
51		<input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の希望を聞き入れている。		今後にも必要に応じて行っていきたく思います。
52	21	<input checked="" type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の生活パターンを把握し、それに応じた生活を送れるよう努めている。		その人らしさというところを考えながら、支援していくように今後も努めていく必要があると思います。
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 3項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	提携の移動美容院はあるが、希望がある人には、他の店も自由に利用してもらっている。身だしなみ等についても、本人の希望を尊重しながら、足りない部分を職員が補うように努めている。		どのような支援ができるかは、家族、職員と検討していく必要があると思います。
54	22	<input type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	準備、片付けを手伝ってくださる方は声かけをして行ってもらっている。		利用者さんの身体的、精神的状況なども考慮しつつ、行っていけるよう努力していきたいと思っています。
55		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	できる限り、行っている。		今後にも必要に応じて行って行きたいと思っています。
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人ひとりの状態やパターンに合わせた対応や支援に努めている。		今後にも必要に応じて行って行きたいと思っています。
57	23	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ゆっくりと入浴できるように数名ずつの入浴を行っている。できる限り希望を尊重している。夜間入浴なども実施している。		今後にも必要に応じて行って行きたいと思っています。

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	ある程度判断能力のある人については、睡眠や休息のタイミングも日常生活に支障の無い範囲で、本人の自主性に任せている。		今後も必要に応じて行って行きたいと思います。
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 4項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	畑仕事など、その日の気分で時々行うのを見守っている。また、趣味など時々思い出したようにするのを支援しています。		今後も継続して行って行きたいと思います。
60		<input type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一部の方は自分でやっているが、基本的にはお金の管理は職員にて行っていますので、できていない。		今後、検討する必要があります。
61	25	<input type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物などは時々自動車で付添支援しています。散歩などの付添も支援しています。また、デイサービスへの行き来もしています。		散歩などの機会を増やしていけるように、さらに工夫していきたいと思います。
62		<input type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	時々外出していますが、あまりできていません。		もっと機会が多くもてるようにできればと思います。
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば応えている。		今後も継続して行って行きたいと思います。
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	どなたでも自由に気軽に訪問していただけるように支援している。		もっと、訪問しやすくなるように今後、どのようにしていくのがよいのか、検討していきたいと思っています。
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 3項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルを作成し、各フロアに置き、確認できるようにしています。ただ、これに基づいての勉強はこれからです。	○	職場内外研修などで、理解を深めていくように努力していきます。

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や共用空間には施錠がない。玄関は利用者の出入りチェックのため錠をつけていたが、道路の危険度が高まり、日中もカギをかけている。	○	再度、工夫を行い、施錠をせず、見守りを行っていきけるよう、検討していきます。
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中においては関わりの中で、夜間においては巡回にて確認を行っている。		今後も継続して行って行きたいと思います。
68		<input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	できる限り、個人の能力に応じた対応をしている。		今後も継続して行って行きたいと思います。
69		<input type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故が起きた際には事故報告書を作成し、必要に応じて会議で検討する等、再発防止に努めているが、予防のための知識や技術、取り組みに関しては十分とは言えない。		先日、報告書の見直しを行い、今後、職員会議などを通じ、検討などを行う予定です。
70		<input type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的には行えていない。		今後、定期的に訓練を実施したいと思います。
71	27	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の避難訓練を行っている。昨年度は消防署立会いの下、利用者が参加しての訓練を実施。		避難訓練の方法の検討を担当者、消防署とも相談の上、今後も実施していきけるようにしていく必要があります。また、地域との連携も検討していく必要があります。
72		<input type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	良く面会に来られる家族とは、リスクについても話し合っているが、あまり面会に来られない家族とは、十分に話し合えているとは言えない。		今後も必要に応じて話し合って行きたいと思います。
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 3項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一人一人の表情や状態をこまめにみて、発見に努めている。		今後も継続して行って行きたいと思います。

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の作用など個人に理解して飲んでもらっている。病状の変化の確認に努めている。		今後も継続して行って行きたいと思います。
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日の排便チェックを行い、便秘者には飲み物を工夫したり、看護師と相談しながら下剤を調整したりしている。		今後も継続して行って行きたいと思います。
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	歯のある方は毎食後、歯磨きを行ってもらい、義歯の方は義歯洗浄を行っている。		今後も一人一人の能力に合わせた支援を行って行きたいと思います。
77	28	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分補給や栄養管理については気をつけている。		今後も継続して行って行きたいと思います。
78		<input type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成し、各フロアに置き、確認できるようにしています。ただ、これに基づいての勉強はこれからです。		職場内外研修などで、理解を深めていくように努力していきます。
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	衛生管理は徹底されていると思います。		今後も継続して行って行きたいと思います。
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 5項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関が奥にあるためわかりにくく、看板はつけているが親しみやすいかは疑問である。		今後、どのようにしていくのか、検討していく必要があると思います。
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	出来るだけいつもきれいに、過ごしやすい環境作りに努めている。季節に応じた飾りを作り、季節感を感じられるような工夫をしている。		今後も継続して行って行きたいと思います。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下にソファを置いたりし、くつろげる空間を作り、自然に皆さんが集まれるように工夫している。		今後も継続して行って行きたいと思います。
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	相談しながら行っている。		今後も継続して行って行きたいと思います。
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	出来る限りの調節を実施し、快適に過ごせるように支援しています。		今後も継続して行って行きたいと思います。
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 4項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各所に手すりを設置したり、玄関の戸に鈴をつけて開閉時に音ができるようにする等、工夫している。		今後も継続して行って行きたいと思います。
86		<input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	自尊心を傷つけないようなケアを心がけている。		今後も継続して行って行きたいと思います。
87		<input type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	している方もいますが、あまりできていません。	○	玄関の鍵の件と含めて、検討していく必要があると思います。
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 2項目					

(部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない ある程度のところでつかんでいると思います。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない もう少しゆっくりとすごせるとよいと思います。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない どうなのか、疑問は残ります。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない どうでしょうか。少しわかりにくいです。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない 今後の課題と思います。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない 概ね不安なくすごせていると思います。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない できている時とできていないときがあり、難しいと思います。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ほとんどできていない できているところとできていないところがあり、難しいと思います。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない 地域とのつながりが乏しいのが原因かと思います。運営推進会議へ地域の方への参加をお願いすることが早急に必要です。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)	
		↓○印欄	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input checked="" type="radio"/> ④全くいない	地域の方の参加がまだできておらず、今後の課題です。
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input checked="" type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない	活気があるのかはわかりにくいです。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input checked="" type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない	まだ、満足のいくサービスは実施できていないと思います。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input checked="" type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない	まだ、満足のいくサービスは実施できていないと思います。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

評価結果整理表

個別表		□のチェック項目数
I 理念に基づく運営		
－1.	<input type="checkbox"/> 理念と共有	2 項目/3項目
－2.	<input type="checkbox"/> 地域との支え合い	0 項目/3項目
－3.	<input type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	3 項目/5項目
－4.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	4 項目/7項目
－5.	<input type="checkbox"/> 人材の育成と支援	1 項目/4項目
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		
－1.	<input checked="" type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	3 項目/4項目
－2.	<input checked="" type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	4 項目/6項目
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		
－1.	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	3 項目/3項目
－2.	<input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3 項目/3項目
－3.	<input type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	0 項目/1項目
－4.	<input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	4 項目/10項目
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		
IV－1. その人らしい暮らしの支援		
－1. (1)	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	3 項目/3項目
－1. (2)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	4 項目/6項目
－1. (3)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	3 項目/6項目
－1. (4)	<input checked="" type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	4 項目/8項目
－1. (5)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	6 項目/7項目
IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		
－2. (1)	<input checked="" type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	4 項目/5項目
－2. (2)	<input checked="" type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	2 項目/3項目

総合評価

I 理念に基づく運営 (3項目/5項目)について

理念の共有と地域との交流が最優先課題かと思えます。運営推進会議の開催を継続し、地域の方への声掛けなども行いながら、理解を深めていく必要があると思えます。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (2項目/2項目)について

利用者さん、ご家族と職員との関係は良好であると思えます。今後とも、信頼関係を保つことを考えていきたいと思えます。

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (3項目/4項目)について

介護計画については、今後も検討していく必要があり、作成方法も含めてよりよくしていくために検討を続けていく必要があります。また、地域とのつながりも関わってくると思えますので、検討課題は多くあると思えます。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (項目/7項目)について

その人らしさということを再度考えながら、考えていく必要があると思えます。まだまだできることは多くあると思うので、職員全員で検討する必要があると思えます。

V サービスの成果に関する項目について

成果についての確認ができていないのが現状だと思えます。意見交換がまだ不足していることが原因と考えます。今後、利用者さん、ご家族、職員とさらに連携を深め、話ができればと思えます。

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

事業者名称 グループホームなぎさ(2階)

評価年月日: H22年 8月 30日

前回評価年月日: H21年 7月 25日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (〇年〇月 ~ 〇年〇月まで)	改善に向けた具体的 な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先 順位	内 容				
1	1	地域密着型サービスの理念	H22年8月～ H23年7月	地域の方への声掛け を行っていく。		H23 年7 月
20	2	同業者との交流を通じた 向上	H22年8月～ H23年7月	他のホームとの連携を 図り、交流を深める。		H23 年7 月